



岡山大学 Alumni
(全学同窓会)会報

WEB版

Alumni

2023
vol.09

Contents

- 1 岡山大学 Alumni に寄せて
- 2 岡山大学ホームカミングデイ2022開催報告
- 3 Alumniの事業紹介
 1. 支部活性化支援
 2. 学都基金寄付状況等
- 5 岡山大学通信
- 8 アクティブ岡大人
- 9 学部等同窓会からのお知らせ

写真 / Junko Fukutake Hall (岡山大学鹿田キャンパス)



岡山大学 Alumniに 寄せて

同窓会で 母校のバツクアツプを

◎岡山大学Alumni(全学同窓会)
関西支部 代表幹事

高村 順久
とし ひさ



岡大入学までと学生時代

私は岡山県真庭郡新庄村という岡山県の北部、辺境の村に生まれました。父が戦死していたため、祖父母、叔父(父の弟)夫婦に養育され、中学卒業までこの村で育ちました。高校は玉野市に嫁いでいた叔母夫婦の好意で叔母方に寄宿して通学、昭和38年(1963年)玉野高校を卒業、同年4月に岡大法学部法学科に入学しました。

大学3年に上がったとき、親しい先輩の勧めで阿部浩二先生(民法)のゼミに入りました。当時司法試験受験は考えていませんでしたが、厳しい先生だとの話で、それまで勉強らしい勉強をしてこなかった反省もあり、もう少し真面目に勉強しなければと思って希望したものです。当時の岡大では、「司法試験に合格した人はいても毎年1人か2人程度、合格者のいない年もあ

る。5〜6年集中して勉強しないととても無理」と言われており、現実的な話ではありませんでした。ところが、大学3年の秋に親しい先輩が司法試験に合格、司法試験は

そう遠いものではないと思い、本格的に受験勉強を始めました。

図書館の利用など、司試の受験勉強のために大学に籍を置いている方がよいので留年し、大学6年目の昭和43年、なんとか合格することが出来ました。同学年で司試を目指していた仲間が私の外に4人おり、合格年は多少前後しますが全員合格しています。

弁護士開業と 法文経済学部同窓会

司法修習生に採用されたのは昭和44年、当時司法試験の合格者は500人で修習期間は2年でした。昭和46年(1971年)3月に司法修習を終了、翌4月に大阪弁護士会に弁護士登録しました。昭和46年当時、大阪には岡大出身の弁護士は10名もいなかったと思います。しかし、正

確な数は分かりませんが、今は大阪だけでも30人以上の卒業生弁護士がいると思います。

岡大の法文経済学部同窓生の組織である「法文経済学部同窓会」は50年以上前に発足しており、その支部組織「大阪支部」も同じ歴史があります。大阪支部の代表(支部長)は長らく1期卒の原田尚武さんが務めておられました。平成19年ころ原田さんに命じられて私が大阪支部の支部長を引き受け、その後平成29年から同業の守口建治さん(昭和52年卒)が支部長を務めてきています。アラムナイ関西支部立ち上げに際し、支部代表幹事に推挙されたのはこのような経緯からだろうと思います。

今、同窓会はどこも受難の時代を迎えています。非力ですが反転攻勢のため努力する所存です。ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



平成10年度大阪支部総会にて

開催報告

岡山大学ホームカミングデー2022

令和4年10月22日(土)、来場者に大学を懐かしみ、親しんでもらうためのイベント、「岡山大学ホームカミングデー2022」を開催しました。2020年からは新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催を自粛しており、3年ぶり11回目の開催となりました。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点や遠方の方にも気軽に参加していただけるよう、対面とオンラインを併用した初のハイブリッド形式で開催しました。

今年は、メイン会場である創立五十周年記念館にて、岡山うらじや連「笑輝(しょうき)」による躍動感あふれる演舞で開幕。続くオープニングセレモニーでは、横野学長から来場者に向けてのあいさつと、小長 Alumni(全学同窓会)会長より祝辞をいただきました。

また、本学や社会に貢献し、著大な功績を挙げた同窓生などに贈る第5回「金光功労賞」の授賞式を行い、受賞された本学異分野基礎科学研究所の沈建仁教授は、「光合成における水分解反応及び光エネルギー高効率利用機構の解明」により、これまで数々の権威ある賞を受けており、その業績で岡山大学の世界におけるプレゼンス向上に大きく貢献し表彰されました。さらに、本学や社会に貢献し、顕著な研究成果等を上げた同窓生又は教職員や他の教職員の模範となるような実践により特に顕著な成果を上げた同窓生又は教職員を対象に贈る第2回「金光奨励賞」授賞式を行い、今回は1人と2団体が受賞されました。

受賞した学術研究院環境生命科学学域の赤木剛士研究教授は、「100年以上も未解明であった「植物の性別」を決定する遺伝子を世



金光功労賞・奨励賞授賞式



小長会長 オープニングセレモニー祝辞



横野学長 オープニングセレモニーあいさつ

界で初めて発見するともに、植物における性の進化過程の全容を解明し、作物の性の人為的制御法を開発するなど、若手研究者として世界をリードする業績をあげたことが評価されました。

団体として受賞した新型コロナウイルスワクチン大学拠点接種プロジェクトチームは、新型コロナウイルス感染症が拡大し、ワクチンの接種率が全国的に伸び悩む中、岡山県下の大規模接種会場と並ぶ規模の大学拠点接種会場を開設し、ワクチン接種率向上と重症化リスクの軽減に貢献したことが評価されました。

同じく団体として受賞した総務・企画部広報課は、広報誌やホームページ、新聞広告に加えて、岡山大学公式SNSも活用して、SDGsを前面に押し出した大学のブランディングに貢献していることが評価されました。

授賞式後には、「光合成における水分解・酸素発生反応の分子機構」と題して、沈教授による「金光功労賞」受賞記念講演が行われ、聴衆は最先端の研究内容に興味深く耳を傾けていました。

続いて、フォトコンテストの表彰式も開催、今年は「SDGs活動に関わる風景」をテーマに、受賞者に賞状と副賞が手渡されました。

その他、学生音楽系サークル・団体が出演する「ミュージックフェスティバル」も行われ、今回は7組の団体が参加し、会場を盛り上げていました。

今回のホームカミングデーでもさまざまな企画をご用意し、皆さまのご来場をお待ちしております。



ミュージックフェスティバル (交響楽団)



ミュージックフェスティバル (ギターマンドリンクラブ)



うらじや演舞

次回開催予定

同窓生・在学生・留学生・教職員・元教職員・一般の皆さまぜひお越しください

岡山大学ホームカミングデー2023

岡山大学では、本学の同窓生に再び大学に足を運んでいただき、大学の近況にふれ、同窓生、在学生、留学生、教職員との交流を深めていただくことを目的としたホームカミングデーを開催しています。一般の皆さまもご参加いただけます。世界に輝き地域に開かれた大学として、皆さまのご来場をお待ちしております。

開催日 2023年10月21日(土)

開催場所 岡山大学津島・鹿田キャンパス
※創立五十周年記念館および各学部 他 (感染症等の影響により変更の可能性がございます。)

同日開催
・岡山大学Alumni(全学同窓会) 総会
・岡山大学ミュージックフェスティバル

問合せ先

岡山大学総務・企画部総務課

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号
TEL:086-251-7019 FAX:086-251-7294

E-mail: ou-hcd@adm.okayama-u.ac.jp



Alumniの事業紹介

〈アラムナイ〉

01 支援事業紹介

学都基金寄付状況等



Alumni東京支部幹事会の様子

Alumni東京支部では、年に1度開催しているAlumni東京支部総会の参加者数を拡大していくために、3ヶ月に一度の幹事会を開催しております。昨年11月、本年は2月28日に開催し、5月にも開催を予定しております。首都圏在住のOBOGの皆様、どうぞお気軽にご参加下さい。

Alumni東京支部事務局長 竹原啓一
メールアドレス takehara@futuredesignlab.jp

Chapter 01

支部活動活性化支援

Alumni東京支部



集合写真

Alumni愛媛県支部

岡山大学Alumni愛媛県支部(愛媛半田山会)の特別講演演会が2年ぶりに令和4年9月3日、松山市医師会館において盛大に開催されました。

今回の開催はコロナ禍でしたが、「岡山大学同窓会メンバーが大いに活躍されている現状を確認し合い、交流を深

め結束を強めるためにぜひ実施を！」と、貞本和彦代表幹事(医学部昭和34年卒)が英断を下され実現したものです。9学部54名、昭和34年卒から平成27年卒までの幅広い年代の多くの方々が、参加し開催されました。

特別講演会は貞本代表幹事の開会挨拶および岡山大学総務企画部長の長谷川拓哉氏による近況報告で始まりました。最初に榎野博史学長(医学部昭和50年卒)に「最近の岡山大学の状況、ありたい未来を共に育み、共に創る研究大学」という演題で、続いて野志克仁松山市長(経済学部平成2年卒)に、「二人でも多くの人を笑顔に、松山市政の現状と今後」という演題で、最後は医療法人順風会天山病院小児科育成医療支援室の小谷信行室長(医学部昭和50年卒)に「日本と英国における小児医療と育児文化の違い」という演題でご講演を頂きました。各講演ともに有意義で深い示唆に富んだものでした。改めて厚く御礼申し上げます。

このように岡山大学(Alumni)愛媛県支部会はコロナ禍にも拘らず、参加者全員が充実したひと時を過ごす



令和4年度Alumni愛媛県支部総会並びに特別講演会 集合写真

ことができました。
 今後は通常通り学生歌の斉唱を行い、和やかに親睦会も開催できることを待ち望んでいます。そして学部間交流・異業種交流、岡山大大学の躍進と岡大ネットワークの更なる発展を期待しています。
 (Alumni愛媛県支部幹事 飯尾隆哉)

Alumni関西支部

第2回岡山大学Alumni(全学同窓会)関西支部総会・懇親会が、令和4年11月6日に、大阪新阪急ホテルの間で開催されました。

大学からは、榎野博史学長をはじめ、加賀勝上席副学長、総務・企画部総務課の皆様にお越しを頂きました。

令和元年8月の設立総会以来3年ぶり、それもいまだ新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの開催となりましたが、48名の同窓生が集いました。高村順久代表幹事(法文学部1969年卒)の挨拶の後、落語家桂阿か枝様(農学部1994年卒)の司会進行で、笑顔に包まれた素晴らしい総会・懇親会となりました。

榎野学長からは、『小長啓一 Alumni会長の瑞宝重光章受章』や『世界的建築家である隈研吾氏が監修した岡山大学「共創コモンズ」の建築状況について』、『小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星リュウグウから持ち帰った石と砂での研究について』の話題など母校の将来展望に大きな期待が持てる近況報告をいただきました。またAlumni関西支部各幹事に登壇いただき各学部同窓会の近況報告を行っていただきました。最後に参加者全員で記念撮影を行いました。あつという間



Alumni関西支部総会・懇親会 集合写真

にお開きの時間となってしまいました。来年も引き続き第3回の総会・懇親会を予定しています。関西において、世代を問わず同じ学び舎で大学時代を過ごした者たちの輪を広げていきたいと考えておりますので、皆様のご参加をお待ちしています。

(Alumni関西支部事務局長 堀内直哉)

岡山大学学都基金の寄付状況等

【累計寄付実績(令和5年1月31日現在)】

区分	件数	金額(円)
教職員(OB含む)	737	42,770,513
在学生(家族含む)	244	2,321,446
卒業生(家族含む)	1,563	570,575,338
企業・団体	323	323,571,623
その他	1,229	27,838,145
合計	4,096	967,077,065

詳しくはホームページをご覧ください

岡山大学学都基金

検索



岡山大学学都基金へのご寄付は、ご寄付の趣旨に沿った本学の諸活動を支える財源として活用させていただきます。ともに、本学における学生支援、教育・研究活動、国際交流及び社会貢献活動の一層の充実をはかる事業の支援に充てさせていただきます。引き続きご支援の程よろしくお願いいたします。

【お問い合わせ】

岡山大学学都基金事務局(総務・企画部総務課)

〒700-8530 岡山市北区津島中丁1番1号

TEL / 086-251-7009

電話受付 9時~17時(土・日・祝日除く)

E-mail: kikin@adm.okayama-u.ac.jp

https://www.okayama-u.ac.jp/user/kouhou/kikin/

岡山大学
通信

小長会長が瑞宝重光章を受章

法文学部1期生で、岡山大学 Alumni（全学同窓会）会長の小長啓一氏（元通商産業事務次官）が、令和4年春の叙勲にて瑞宝重光章を受章されました。

受章を記念して、令和4年6月24日、創立五十周年記念館にて小長会長と法学部生の対談が行われました。

小長氏は岡山大学を卒業後、旧通産省に入り、地方大学出身者として初めての事務次官に就任しました。田中角栄元総理の秘書官を務め、日本列島改造論の立案にも携わりました。

山陽新幹線や岡山空港の整備また瀬戸大橋架橋など岡山県の発展にも貢献され、92歳になった今も産業人材研修センターの理事長として人材育成に尽力しています。



対談の様子

岡山大学グリーンイノベーション
看板除幕式を挙行

令和4年4月12日、岡山大学グリーンイノベーションセンターの看板除幕式を挙行了しました。当センターは、SDGs推進研究大学を掲げる本学が、地方創生、地域の脱炭素社会を支える人材育成と技術開発の拠点として、令和4年4月1日に新設したものです。

除幕式では、榎野博史学長、グリーンイノベーションセンター長の阿部匡伸理事（特命（デジタルトランスフォーメーション推進）担当）からあいさつがあり、榎野学長からは、「木造建築・林産業の振興事業、地域企業のDX化をけん引する事業などの組織・団体の垣根を超えた協働事業を展開し、脱炭素社会・地域循環共生圏・地方創生の実現に資することを期待する」ことの激励の言葉がありました。

除幕セレモニーでは、榎野学長、高橋理事（企画・評価・総務担当）、阿部センター長、綾野部門長、野上部門長による除幕で、新たな看板がお披露目されました。

当センターは、SDGs未来都市である真庭市を中心とした県北地域の林業・木材産業とも連携する「木造建築・林業・サプライチェーン部門」と、林産業における情報インフラ構築を技術的に支援するとともに、中四国地域を視野に入れた地

域のDX人材育成を担う「グリーンbyデジタル部門」の2部門により、地域ゼロカーボンの推進と地域循環共生圏の実現に向けた新たな事業モデルを発展させることを目指します。

なお、設置した看板は、当センターの設置に伴い、真庭市等で構成される林業・木材・木造建築教育・研究ゾーン構想検討委員会により、真庭市産の檜を使用した木製看板を製作いただきました。



除幕後、看板をバックに記念撮影

「デジタル田園健康特区」事業構想等を通じた 地域課題解決の先駆的モデル構築に向け、 吉備中央町と連携・協力に関する協定を締結

令和4年4月13日、吉備中央町と、広範囲な地方創生及び人材育成並びにSDGsの達成に寄与することを目指す連携・協力に関する協定を締結しました。

本学は、令和3年1月、「心豊かな暮らし」(Well-being)と「持続可能な環境・社会・経済」(Sustainability)を実現するという理念が一致したことから、「吉備高原都市スーパーステイ構想」推進協議会にリードアーキテクトとして参画。以降、同協議会において本学も議論に加わり、構想の検討・立案が進められ、令和4年3月10日には、内閣府の国家戦略特別区域諮問会議において、全国初となる革新的事業連携型国家戦略特区「デジタル田園健康特区」に指定されました。(令和4年4月12日に閣議決定)

これを受け、今までの実績と信頼関係を基盤に、より緊密かつ組織的な連携・協力を体制をとることに、デジタル田園健康特区における事業構想等をはじめとした、広範囲な地方創生・人材育成・SDGs達成を推進するため、協定を締結することとなりました。

この日行った調印式では、本学の榎野

博史学長、同町の山本雅則町長が協定書に署名。調印後、榎野学長は、「総合大学として、幅広い学問領域の『知』と『技』を集結した『オール岡大』体制で『地域の課題解決の先駆的モデル』を構築し、ローカルSDGs※の達成を図りたい」とあいさつし、山本町長は、「岡山大学と一体となり、デジタル技術を活用した先端的なサービスの提供により、地域課題の解決と地域社会の発展に寄与し、同じような課題を持つ他の中山間地域のモデルになることを目指したい」とあいさつしました。



関係者の集合写真

※ローカルSDGs
各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方

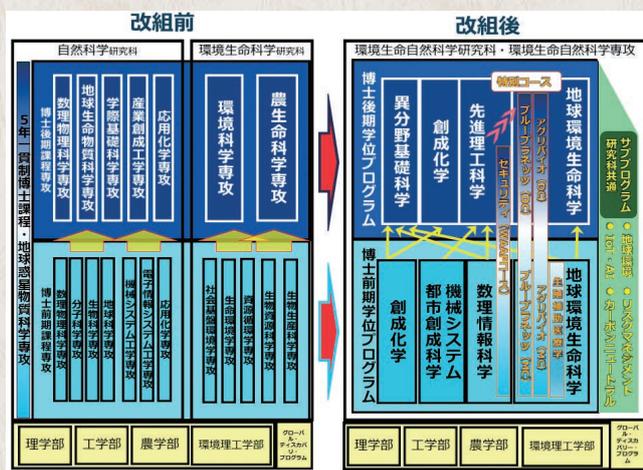
環境生命自然科学研究科を 令和5年4月に設置します

令和5年4月に大学院自然科学研究科及び大学院環境生命科学研究科を再編統合し、大学院環境生命自然科学研究科を設置します。

本学では、グローバル化や少子高齢化、DX化など急速に社会が変化する時代の転換点を迎えている現代において、社会や企業のニーズや期待に応えるために、既存の枠組みを超え、大学院生が身に付けるべき能力を意識した学修者本位の学びを軸にした、大学院教育の質的転換を目指し、大学院改革に取り組んでいます。

理系研究科においては、基礎科学や応用工学の知識と技術に環境問題と食料問題に関する新しい学問体系を融合し深化することにより、自らが率先して課題を発見し解決するリーダーシップとトランスアラブルな力を有する「主体的に変容し続ける先駆者」として新たな価値創造と世界の革新に貢献する人材を養成することを目的に、既存の自然科学研究科と環境生命科学研究科を再編して「環境生命自然科学研究科」を設置するべく、文部科学省に申請していました。

環境生命自然科学研究科は、理学部・工学部・農学部を基礎学部とし、「基礎科学や応用工学の知識と技術」に「環境問題と食料問題に関する新しい学問体系」を融合し、深化することにより、より広い社会ニーズに対応し、問題を解決できる様々な枠壁を越える多様な人材の養成を目指し、環境生命自然科学専攻1専攻を置き、学位プログラムを導入します。



小惑星リュウグウの起源と進化 —地球化学総合解析による太陽系物質進化の描像

研究成果の概要

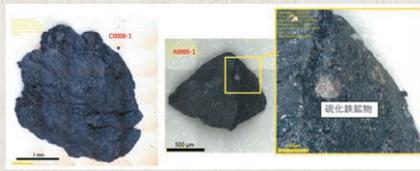
日本の小惑星探査機「はやぶさ2」の探査対象であった小惑星リュウグウから回収された16粒子を用いて、詳細な地球化学総合解析を行いました。その結果、小惑星物質試料が太陽系形成前から現在に至る複雑な物理化学過程の証拠を保持していることがわかり、生命の起源を含む太陽系物質進化の新しい描像を導くに至りました。

研究資金

本研究は、文部科学省「共同利用・共同研究拠点経費」、内閣府「国立大学イノベーション創出環境強化事業」の支援を受け

け実施しました。

また、平成28年10月21日に発生した鳥取中部地震により先端設備が甚大な被害を受けました。文部科学省「施設整備費補助金」による整備支援いただいたことにより、今回の成果に大きく繋がりました。



リュウグウ粒子の外観。黒色無光沢で、細かな割れ目が発達している(左)。細粒緻密なマトリクスに鉱物の集合体や自形結晶が散在している(右)。

経済学部OB「野志松山市長」による講演会を開催

野志克仁松山市長による講演会が1月12日、文・法・経済学部講義棟において開催され、文・法・経済学部学生約200名が参加しました。

野志市長は岡山大学経済学部を平成2年に卒業され、地元愛媛の民放でアナウンサーを務められたあと、平成22年の市長選挙で初当選し、これまで4期市長を務められておられます。

講演は、「後輩の皆さんに伝えたいこと〜キラッと光る松山市のまちづくり〜」と題して行われ、講演の中で市長は、松山市

の地域経済の立て直し、中心市街地の活性化等の行政の取組みを紹介されました。また、仕事を行う上で大切なものは「知恵と工夫と連携」と話され、これから社会に飛び立つ後輩に、「仕事に対して高い意識を持ち取り組み続けることが重要である。」と激励してくださいました。



野志松山市長による講演の様子

岡山大学共育共創コモンズ完成披露式典を開催

本学は1月26日、岡山大学共育共創コモンズの完成を記念して、完成披露式典を開催しました。式典に先立ちテープカットが行われ、建築の監修をした隈研吾岡山大学特別招聘教授(建築家)、多大なるご寄付をいただいた中島博ナカシマホールディングス株式会社社長、小長啓一岡山大学Aiumni(全学同窓会)会長及び横野博史学長、阿部匡伸理事、菅誠治工学部長がテープにハサミを入れて完成を祝いました。

式典には、伊原木隆太岡山県知事及び宮長雅人岡山経済同友会代表幹事(中国銀行取締役会長)をはじめ、行政、企業関係者、同窓会及び本学の教職員、学生ら合わせて約200人が参加しました。冒頭に伊原木知事、宮長代表幹事からあいさつの後、建設に際してご尽力をいただいた隈先生及び清水建設株式会社に学長から感謝状を贈呈しました。

続いて、公募により決定された共育共創コモンズの愛称が阿部理事より発表され、本学職員の田邊光伸さんが発表した「OUX(オークス)」が披露されました。田邊さんから考案理由が発表され、(1)岡山大学の「OU」と共育・共創の交流を表す「X」、(2)Optimal(最良・最適な)UX(ユーザーエクスペリエンス)を提供する場、(3)「オーク(檜)」や「大楠」を連想させ、岡山のシンボルツリーたる大樹

をイメージできる、など3つの意味を込めたことでした。

引き続き、本学の学術研究院教育学域《国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座》の才土真司准教授と伊藤駿助教、同講座の受講生らによる「共育共創コモンズメイキングビデオ」を上映しました。映像は建設に関わった様々な人の想いを伝え、建築工程が記録された内容でした。式典後半の隈研吾先生の講演では、共育共創コモンズ完成に寄せた言葉の他、建築家を目指す学生に向けて、監修したこの建物の特徴や設計の想いなどを含めた話がありました。

本学では、共育共創コモンズ建設のコンセプトである「地域の産業活性化のための新たな交流と共創の場」として、また岡山の新しいシンボルとして、学生が学ぶとともに地域や企業の皆様との協働を一層充実させながら、岡山から世界に新たな価値を創造していきます。



岡山大学共育共創コモンズ



朗読グループおはなしのWAJ代表
遠藤 寛子
ENDO Hiroko

公益財団法人
福武教育文化振興財団の
「2022年度
福武教育文化賞」を受賞。

プロフィール

- ◆1971年2月10日 岡山県出身
- ◆1993年3月 岡山大学文学部哲学科哲学履修コース卒業
- ◆1993年4月 RSK山陽放送に入社
アナウンサーとしてテレビ・ラジオ番組を担当
同社退社後フリーアナウンサーに
テレビ・ラジオ番組を担当する他、イベント・式典司会なども行う
現在担当番組 RSKテレビ「ライブ5時 いまドキッ!」(火)、
RSKラジオ「おかやまニュースの時間」(月)など
- ◆2006年～ 岡山県・岡山市登録手話通訳者となる
- ◆2011年4月～ 東日本大震災・西日本豪雨災害復興支援を目的とする
朗読グループ おはなしのWAJの活動を開始
- ◆2014年度 アノンシスト賞ラジオ 読み・ナレーション部門優秀賞受賞
(遠藤個人として)
- ◆2021年度 おはなしのWAJが福武教育文化賞を受賞

岡山大学を卒業したのはちょうど30年前のことです。今も変わらぬ、いちょう並木と時計台の景観に安心感を覚えます。物事を多角的に考えることや仲間と協力して物を作り上げる喜び、また世の中のお役に立つ人になるという考え方は、このキャンパスで育まれたのだと感じています。卒業後は地元放送局に入社しアナウンサーとして勤めました。今もフリーでこの仕事を続けています。

また一方で音声だけでは伝わらない人がいるとの思いから手話を学び、岡山県と岡山市に手話通訳者として登録。聞こえない人と聞こえる人を、言語を通して繋ぐ活動もしています。

さて、朗読グループおはなしのWAJを立ち上げたのは2011年の東日本大



子どもたちに「ブラザーズドッグ」を伝えている様子

とでした。会では、友人を通して出逢えた福島県相馬郡飯館村在住の方に被災地の折々の状況を伝えていただいています。また'18年の西日本豪雨災害では岡山県も被災地となりました。この災害を後世に伝えたいと思い、実際に起こった状況をもとに作った絵本『ブラザーズドッグ』を発行しました。災害の記憶は年々薄れ、今後は災害を知らない世代も増えていくでしょう。子どもたちの防災意識を高め、ま



『ブラザーズドッグ』

た朗読の楽しさも知ってもらおうという目的で、この絵本を活用した「朗読録音会」も行っています。いつか子どもたちが大人になった時にまたこの絵本を思い出し、彼らの子どもたちに語り継いでほしい、そしてどんな時も困難に負けず前を向いて強く生きてもらいたい—そんな願いをこめた絵本です。

この一連の活動により、'22年度福武教育文化賞をいただきました。この受賞を励みに継続してきた活動をさらに高めていきます。この物語を読んだ子どもたちの感想文をもとに歌を作り、災害から5年となる今年7月に発表します。もちろん朗読会や録音会も継続して開催します。また昨秋からは国立ハンセン病療養所久光明園の機関誌の朗読ボランティアも始めました。前任の方から継いだこの活動も長く続けていき入所者の皆さんのお役に立てるよう精一杯務めていきます。

「想いを言葉にのせて伝える」そして「お互い様の心で優しい未来をつくる」小さな活動ですが、これからも続けてまいります。



2022年度福武教育文化賞贈賞式の様子

窓等学部学からの お知らせ

※掲載希望のあった同窓会のみ掲載しています。

法文経学部同窓会

令

和四年になってからも、新型コロナウイルス感染者が増減する中、当会は岡山総会(7/1)および神戸(7/8)・名古屋(7/16)・東京(7/23)・大阪(9/9)・山口(10/28)の五支部総会が三年ぶりに開かれた。

岡山総会は、ヒュアリティまきびにて午後六時から総会を開き、終了後大原あかね氏(公財)大原美術館理事長、岡山大学監事)による「みんなのマイミュージアム・大原美術館の過去いま未来」と題する特別講演があった。八一名(榎野学長他ご来賓を含む)の出席を得て、盛会であった。大原氏は、大原家の歴史から変化する大原美術館の未来に至るまで、映像とともに熱く語られた。

大原氏の講演後、懇親会がもたれた。久しぶりに、会員間の交流と親睦を大いに深める機会となった。

令和5年度岡山総会は、七月七日(金)を予定。多数の会員の出席をお願いしたい。(会長 秋山義信)

教育学部同窓会

教

教育学部同窓会は毎年5月に総会を開催していますが、新型コロナウイルス感染症防止のため開催中止を余儀なくされてきました。令和4年度は3年ぶりに懇親会を除く総会行事を無事開催することができました。また、教師を目指す学生への支援活動として、「教職ガイダンス」に学校現場で働く先輩をお招きするお手伝いをしたり、環境整備のお手伝いをしたりすることもできました。

ただ、残念なお知らせもあります。本会顧問の森崎岩之助氏が令和3年9月に分島久志氏(初代会長)が令和4年5月にご逝去されました。本会の発展に多大なるご尽力をいただいたお二人に改めて衷心より感謝申し上げます。謹んでご報告させていただきます。

令和5年度総会講演会は、5月27日(土)10時10分よりヒュアリティまきびで開催する予定です。柴岡 二先生による英国パブリック・スクールについてのご講演も予定しており、ご参加お待ちしております。

保健学科放射線技術科学 専攻同窓会

保

保健学科放射線技術科学専攻同窓会「ほおゆう」は、2年ごとに総会と懇親会を開催しています。

2023年1月現在、世界的に流行している新型コロナウイルスの拡大が未だ収束をしていない状況の中、2020年に宇野弘文新会長就任以降、総会の会期を延期しながら活動再開を心待ちにしているのが現状です。しかし「ほおゆう」は、昨年執行部役員の協力のもとZoomによる評議員会を初開催いたしました。総会についても、同様に実施可能か否かについて検討を始めています。昨今のネットワーク環境の急速な発達を契機に、新しい同窓会のあり方を実践していくチャンスととらえ、執行部一同「ほおゆう」を通じて人のつながりを継続していきながら、喜びを分かち合える温かい「ほおゆう」を目指し、本年も活動して参ります。国連のプロジェクトであるSDGs同様、持続可能な同窓会でありたいと心より願っています。

【ほおゆうホームページ】

<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/dousou/alumni/>

岡山大学医学部保健学科 検査技術科学専攻同窓会

岡

山大学医学部保健学科検査技術科学専攻同窓会の「あらたま会」では、4年毎に総会の後

に懇親会を開催しています。コロナ禍のため開催を延期することも考えましたが、楽しみにされている方々もおられると思い、今年度末に開催できるよう準備を進めています。懇親会では参加者から近況報告をもらう予定です。コロナ禍のため飲食をしながらの会にはできませんが、ささやかながらお弁当を準備いたしますので帰られる際にお渡しする予定にしています。久しぶりに会う機会にしたいだければ幸いです。多くの同窓生のご参加をお待ちしています。

【令和5年あらたま会同窓会・懇親会】

日時：令和5年3月19日(日)

10時より総会10時30分より懇親会

場所：地域医療人育成センターおかやま(マスクとキューブ)

会費：2000円の予定

工学部同窓会

同

窓会の活動は、①各系コース同窓会による学生と卒業生の交流活動、②岡山大学ホームカミングデイでの工学部同窓会報告会懇親会の開催、③関東関西・岡山支部の活動支援、④会報発行や名簿管理等です。

令和4年10月22日(土)の岡山大学ホームカミングデイ開催に併せて、統合した工学部同窓会の初めての総会(報告会)を開催しました。新型コロナウイルスのため中止していましたが、三年ぶりの開催となりました。参加者は多くはありませんでしたが、新しい工学部同窓会の門出を祝うとともに、

新しい同窓会についての報告を行いました。



同窓会総会での代表幹事挨拶(10月22日 同窓会総会会場)

岡山大学助産師同窓会

岡

山大学助産師同窓会の会員数は、令和5年3月の時点で千名を超え、全国各地で活躍しています。

平成24年4月から大学院博士前期課程で助産師教育を行っており、令和5年4月の時点では、1年生・2年生ともに10人が在籍しております。わが国では、少子化が留まるところを知らない状況の中ですが、助産師の活動の場は広がり続けています。今年度より、病院・施設内だけでなく、地域での活動への期待に応えるべく、助産院での実習を拡充させていただきました。時代のニーズに応えられる助産師を育成す

るために、教育環境を整えられる背景には、同窓生の方々のご助力がございまして、感謝しております。今後とも本会の運営に対するご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

令和5年9月30日(土)には、同窓会総会(5年毎の開催)を開催する予定です。同窓会の皆様のご協力をお願い申し上げます。

歯学部同窓会

歯

学部同窓会の正会員数は、2023年1月現在で約2,200名で、卒業生は全国各地で歯

科医療、行政、研究、教育などの場で活躍しています。同窓会本部のみならず岡山県支部、兵庫県支部、大阪府支部、奈良県支部、京都府支部、北海道支部、関東地区支部、東北地区支部、東海地区支部、愛知県支部、滋賀県支部、和歌山県支部、広島県支部、島根県支部、香川県支部、愛媛県支部、徳島県支部、中国地区支部、四国地区支部、鹿児島県支部、九州・沖縄地区支部、大学支部が設立され、各地区で充実した活動がなされています。毎年7月には、年に一度、同窓会本部・支部・地区支部ならびに代議員会の役員による同窓会役員連絡協議会を開催しています。2023年は7月8日(土)に役員連絡協議会を、また、翌日の7月9日(日)には総会を開催する予定です。今後とも本会の運営に対するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

環境理工学部同窓会

環

環境理工学部同窓会は、学部4学科の同窓会から構成されてきました。令和3年4月に工学部と環境理工学部が統合され、新理工学部が誕生したことに伴い、両学部の同窓会も統合し、「工学部同窓会」としてスタートしております。ここでは、令和4年度に開催された環境理工学部各学科同窓会イベントを紹介いたします。

1月には、環境管理工学科同窓会(岡山大学拓水会)が定例総会(Web方式)を行いました。

10月には、岡山大学ホームカミングゲイ2022において、学科同窓会毎に卒業生講演会、教員・在学生を交えた意見交換会などが行われ、卒業生と現役学生の交流を深めました。

引き続き、卒業生の皆様方の一層のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

理学部同窓会

理

学部同窓会は、学部同窓会として平成24年3月に発足し、学部卒業生、関係大学院の修了生および関係者から構成されています。令和4年12月現在の会員数は約4,500名となりました。

7月には、3年ぶりに理学部同窓会関東支部の総会を学士会館にて、会場参加と

WEB参加のハイブリット形式で開催し、交流を深めました。次回もハイブリット形式での開催を計画しています。

10月には、「理学部同窓会会報」第11号を発行しました。会報は同窓会設立以来、毎年1回、会員同士の交流を深め、会の発展の一助となることを願って発行してきました。今後もよりよい会報を発行したいと考えていますので、ご意見、ご要望をお待ちしています。

今後とも、同窓会をさらに充実・発展させられますようご支援をお願い申し上げます。(理学部関東支部総会及び同窓会会報については、理学部ホームページをご覧ください。)

国際同窓会

岡

山大学国際同窓会は平成23年に発足し、現在世界に55支部(通信拠点を含む)が設立されています。昨年には設立10周年を迎えまして、これまでご協力を賜りました皆さまに改めて御礼申し上げます。

岡山大学国際同窓会では、昨年度より学生スタッフを雇用し、Young Alumniの獲得に向け、留学生を対象としたイベントやSNSを用いた広報活動に力を入れています。今年度は4月、6月にかけて「岡山発見かるた大会」や「国際ヨガ交流会」などのイベントを開催し、留学生や日本人学生が参加しました。また、10月には岡山大学国際同窓会会長、

ミヨキン先生(Dr. Myokhin)を本学へ招聘し、第12回国際同窓会総会を対面とオンラインのハイブリット形式で開催し同窓生との交流を深めました。今後も同窓生と本学を繋ぎ、岡山大学のグローバル化に貢献したいと考えています。引き続き皆さまのご理解とご支援をお願いいたします。

農学部同窓会

農

学部同窓会では5年毎に同窓会会員名簿を作成しております。本年は名簿作成の年に当たりますが、時代はペーパーレス化を進め、新しい同窓会名簿はWEB同窓会システムを採用する予定で、現在準備を進めております。これにより個人情報をご自分で管理・更新することが可能となります。すなわち、情報は5年毎に更新されるのではなく、変更のあった時点で即座に更新できるようにいたします。また、同窓会内の各種グループ毎の連絡にも非常に便利になります。会員の皆様には、IDやパスワードの設定等を含めたご案内を5月末までに送付させて頂く予定です。是非、新規情報の入力にご協力をお願い致します。WEB名簿の活用により、これまでより、頻りに会員同士の交流を深め、会の発展の一助となることを願っております。

今後とも、同窓会をさらに充実発展させることができますよう、会員の皆様のご支援をお願い申し上げます。

鶴翔会(岡山医学同窓会)

鶴

翔会は、医学部医学科卒業生、大学院修了生及び在学生並びに医学部及び病院の医局員、教職員を会員とする岡山医学同窓会として設立され、医学部・病院と共に歩を進め、多くの会員が医学、医療の各分野で活躍しています。

【令和五年度鶴翔会総会】

日時／令和五年六月三日(土)

場所／未定

連絡先／鶴翔会事務局

TEL：086-23517060

※詳細は鶴翔会会報をご覧ください。

【支部活動】

各支部では、支部総会を開催し会員の研鑽と親睦を図る活動を行っています。詳しくは、お近くの各支部(鶴翔会HPへ掲載)へお問い合わせください。

【鶴翔会HP】

活動内容やお知らせについて随時更新しています。是非ご覧ください。

<https://kakushoukai.umed.okayama-u.ac.jp/>

QRコードは

こちら↓



ときわ会(看護同窓会)

と

きわ会は、昨年十月に「看護教育100周年記念誌」を発行しました。大正十年に岡山医科大學附属産婆看護婦養成科が開設されてから百年、岡山大学における看護教育の歴史を振り返りました。90ページからなる冊子は、会員をはじめ、県内の看護教育機関、県立図書館、国立国会図書館にも寄贈しました。また、今後4年間はときわ会新入会員へもお届けします。100年間の歴史を十二分に味わっていただければと思います。100年間変わらない事の一つに「自由でのびのびとした校風と恵まれた教育環境」(本誌「岡山大学における看護教育の歴史」平井康子氏)があります。記念誌の編集に携わることができ、母校への感謝の気持ちを新たにしました。



鹿田キャンパスJホール前
記念植樹の枝垂桜



創立五十周年記念館 寄附金執行状況の報告

年度	寄附総越額	執行額	執行残額	執行内訳
平成16年度	47,580,000	5,192,425	42,387,575	光熱水料等(3,384,132) 人件費(1,808,293)
平成17年度	42,387,575	1,836,042	40,551,533	人件費
平成18年度	40,551,533	1,824,733	38,726,800	人件費
平成19年度	38,726,800	1,842,092	36,884,708	人件費
平成20年度	36,884,708	157,337	36,727,371	人件費
平成21年度	36,727,371	0	36,727,371	
平成22年度	36,727,371	2,478,000	34,249,371	空調設備改修
平成23年度	34,249,371	0	34,249,371	
平成24年度	34,249,371	856,800	33,392,571	空調機保守点検 他
平成25年度	33,392,571	12,300,802	21,091,769	映像デジタル化設備 他
平成26年度	21,091,769	633,178	20,458,591	消防用設備保全業務 他
平成27年度	20,458,591	0	20,458,591	
平成28年度	20,458,591	0	20,458,591	
平成29年度	20,458,591	0	20,458,591	
平成30年度	20,458,591	0	20,458,591	
令和元年度	20,458,591	0	20,458,591	
令和2年度	20,458,591	2,989,800	17,468,791	音響・映像設備更新
令和3年度	17,468,791	0	17,468,791	

(令和3年度末現在 単位:円)

Alumni会員専用サイトをご利用ください

専用ページからご登録いただくことで、学部等の同窓会に所属されているAlumni会員の皆様だけでなく、その他のAlumni会員の皆様にもAlumni事務局から直接情報をお届けします。マイページ機能などもお使いいただけます。(学部等の同窓会に所属されている方も、以下の機能をお使いいただく場合は、Alumni会員登録フォームからの登録が必要です。)

充実の機能

新着情報案内

充実のセキュリティ

マイページ機能

登録者間の交流



登録はこちらから

会費納入のお願い

岡山大学Alumni(全学同窓会)は、岡山大学の同窓生、在学生、教職員、教職員OBの皆様からの会費を財源として、各種支援・交流創出・運営等の事業を実施しています。Alumniの活動をご理解いただき、ぜひ会費の納入をお願いいたします。

郵便局に備え付けの「払込取扱票(青)」にて、下記の記載事項をご記入の上、郵便局・ゆうちょ銀行の窓口またはATMよりお振込みをお願いします。

終身会費：10,000円

※すでに納入いただいた方は、あらためて納入いただく必要はございません。振込口座などの詳細はHPを御覧ください
<https://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/dues/>

住所変更等について

会報を皆様のお手元に確実にお届けするために、お名前・ご住所等を変更された場合は、Alumni事務局までご連絡ください。ご連絡いただいた情報は、皆様の所属学部等同窓会にも連絡させていただき、厳重に管理いたします。

[氏名(新・旧)、住所等連絡先(新・旧)、卒業学部、卒業年度]

お問い合わせはこちらまで

E-mail ou-alumni@adm.okayama-u.ac.jp

URL <https://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/>



ALUMNI
OKAYAMA UNIVERSITY



岡山大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY



発行：岡山大学Alumni(全学同窓会)事務局

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号(岡山大学総務・企画部総務課学都基金室内) TEL: 086-251-7019 FAX: 086-251-7294
E-mail: ou-alumni@adm.okayama-u.ac.jp URL: <https://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/>



岡山大学 リサイクル募金

OKAYAMA UNIVERSITY

produced by きしゃぼん



読み終えた本などの
リサイクル品で支援ができます

岡山大学リサイクル募金は、皆様から読み終えた本やDVD等をご提供いただき、その査定換金額が岡山大学学都基金に寄付される取り組みです。寄付金は、学生支援や教育・研究活動、国際交流活動等の推進のために役立てられます。

皆様からのご支援、ご協力をお待ちしております。

申込受付から査定・報告、および送金は「リサイクル募金きしゃぼん」(運営:嵯峨野株式会社)が担当します。リサイクル募金1回のご参加につき、きしゃぼんからも100円が寄付されます。



リサイクル募金の流れ

① 梱包・申込



宅配業者が伝票をもって
引き取りに伺います。

② 査定・換金



きしゃぼんからも1件につき
100円が寄付されます。

③ 寄付



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

お名前を添えて寄付します。

お申込み・お問い合わせ

お申込みは
Webで

岡山大学 リサイクル募金



<https://lp.kishapon.com/okayama-u/>

(お問い合わせ)

☎ 0120-29-7000 9時~18時 オペレーターに ID **88** とお伝えください。

